

“鳥取市企業城下町の城主”と称されていた

鳥取三洋電機（パナソニックに吸収）で、小さな人権侵犯事件発生。

その後深刻な……

Aは鳥取三洋電機で、面接者全員採用の超ブラック会社テスコに所属し、海外旅行資金稼ぎをしていた。リビング事業部の夜勤専属。すると1年半後「夜勤と同じ日給を出すから」と昼勤に替えられた。体育館のような大きな部屋で一人だけの部品組み立ての作業。自主退職に追い込む作戦。1週間ぐらい先の12月15日に、出勤日3分の2以上出勤者にはボーナスが出る。ボーナス貰ってからバイトを辞めようと思った。

ボーナスが出た翌日16日、責任者M氏から「辞めてくれ」と言われた。理由を聞いたら「仕事がない」。さらにM氏は「一人ぼっちが寂しいだろ」を3回位連呼するパワハラ、そして退職に追い込まれた。

リビング事業部での些細な人権侵犯事件が、首脳部にバレ……

M氏から声を詰まらせ雇用保険の手続きの書類を取りに来るよう電話があった。会社に行くとM氏はすっかり落ち込んでいた。そして書類を手渡した。

行政が「大企業様の人権侵犯事件 もみ消し！」と隠蔽

職安に手続きに行くと奥村次長が口封じ、そして父親にも「(病気による)被害妄想と処理する」と電話連絡口止めの会話⇒ <http://greenvxv.jp/kuti.pdf>